

流行ニュース：

< 中央アフリカ共和国における髄膜炎菌性髄膜炎 >

2月1日、WHOは 1999年 10月から 2000年 1月の間の髄膜炎菌性髄膜炎の患者の増加について報告した。患者の総計は 86名で、そのうち 14名が死亡した。被害地ではワクチン接種のキャンペーンが実施され、その状況は WHOアフリカ地域事務局によって監視された。

今週の話題：

< 2000年～2001年のシーズンに使用するインフルエンザウイルスワクチンの推奨される組成 >

・インフルエンザの活動（1999年 10月から 2000年 2月）

インフルエンザの中度あるいは重度の流行が南北アメリカ、アジア、ヨーロッパでみられた。北アメリカでは 12月の第3週をピークとして 10月から 2月の第1週まで、日本と最西のヨーロッパの諸国では 12月に大発生し、2000年 1月までにはヨーロッパ、北アメリカ、アジア諸国で広がった。散発的なインフルエンザの活動は南半球で続いた。インフルエンザ A(H3N2) ウィルスはほとんどの国で勢力をふるった。インフルエンザ A(H1N1) ウィルスは香港、日本、スペインでの大発生に関連した。いくつかの国ではインフルエンザ Bウィルスは、インフルエンザ Aウィルスと共に広がった。

・最近分離されたウイルスの抗原性の特徴

インフルエンザ A(H3N2)：感染後のフェレット（イタチの一種）血清をもちいた HI (haemagglutination-inhibition)テストにおいて、アフリカ、南北アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニアから分離されたインフルエンザ A(H3N2)の大多数は A/Moscow/10/99と A/Panama/2007/99 ウィルスに密接に関連していた（また、A/Sydney/5/97にも密接に関連していた）。

インフルエンザ A(H1N1)：A/NewCaledonia/20/99あるいは A/Bayern/7/95のいずれかに関連していたが、分離された大多数は A/NewCaledonia/20/99様であった。

インフルエンザ B：B/Beijing/184/93とワクチン株として広く使用された B/Yamanashi/166/98に関連していた。

・不活化インフルエンザウイルスワクチンによる研究

haemagglutinin に対する抗体は A/Sydney/5/97(H3N2)、 A/Beijing/262/95(H1N1) ウィルスと B/Harbin/7/94あるいは B/Yamanashi/166/98(B/Beijing/184/93様の両方)の抗原を含む三価の不活性化されたワクチンの接種を受け、おのおの haemagglutinin 15 マイクログラムを投与されたワクチン被接種者の血清の HI によって測定された（詳細は WER参照）。

インフルエンザウイルスワクチンの組成の推奨

2000年から 2001年のシーズン（北半球の冬）に使われるべきワクチンは以下のものを含むものが推奨される。

A/Moscow/10/99(H3N2)様のウィルス

A/NewCaledonia/20/99(H1N1)様のウィルス

B/Beijing/184/93様のウィルス

A/Panama/2007/99 は A/Moscow/10/99(H3N2)様のウィルス

最も広く使われたワクチン株である B/Yamanashi/166/98

不活性化ワクチンの実験室用の標準化に使用する試薬の入手先は WERp64参照。

抗原性の分析のための株の照会の依頼は WERp65参照。

< 小児と思春期の健康と発達 >

・WHO本部による専門的報告書

WHOの小児と思春期の健康と発達 Child and Adolescent Health and Development(CAH) の部門は定期的に英語での専門的報告を行なっている。ここでは発展途上国における健康プログラムの計画と管理、そして既に着手されている発達プロジェクトと調査に関する CAHのアプローチと方法論の最新の概略を報告し、おのおのの報告では次のような項目が議論されている。

・包括的概略

幼小期の主要な疾患の管理（単一疾患アプローチから統合的管理まで）戦略の歴史、目的と展開；青年の健康と発達のための知識、調査と手引きに関する歴史的包括的概略；10～19歳の青少年に注意を向ける必要性の論理的根拠と彼らに影響する健康問題の異なる見解；各国における小児疾患総合管理 Integrated Management of childhood illness(IMCI)の紹介の過程；子供と青少年における主要な健康問題の予防と制御；そして健康的な成長と発達を支援するための調査と発達の優先順位。

・地域と国々への専門的支援

計画・再計画、訓練、安全で支持的な環境の創造、保健医療供給の改善、子供と青年の権利、監視と評価の項目を含む（各項目の詳細は WERp66参照）。

・調査と発展

安全で支持的な環境、公共医療の供給、監視と評価、CAHと他の組織の項目を含む（各項目の詳細は WERp66 67参照）。

流行ニュースの続報：

< インフルエンザ >

ベラルーシ (2000年 2月 12日)：インフルエンザの活動は2月の第2週の間広がり続けていた。検出されたインフルエンザ患者の多くはインフルエンザ A(H3N2)であった。

クロアチア (2000年 2月 12日)：2月の第2週はインフルエンザの活動が広がって以来6週目の週であったインフルエンザ Aウィルスが検出され、A(H3N2)の亜型であった。

デンマーク (2000年 2月 12日)：最初に報告された12月最終週の大発生に以来、インフルエンザは局所的に発生していたが、低い状態にとどまっていた。2月の第1週目にわずかに増加した。分離されたインフルエンザ A(H3N2)ウィルスのさらなる調査により、A/Mbscow/10/99(H3N2)様と A/Panama/2007/99様の株が同定された。

ドイツ (2000年 2月 12日)：2月の第2週、インフルエンザの活動は広がり続けた。検出されたインフルエンザウィルスのほとんどが A(H3N2)であった。

(永井栄一、金子翼、片岡陳正)